

大会申し合わせ事項

- 1 開会式は行わない。
- 2 ベンチは組合せ番号が若いほうが一塁側とする。
- 3 主将は試合開始予定の30分前か、前試合の4回終了時に打順表を提出すること。
- 4 打順表には、出場選手全員を記載する。
記載洩れ選手はその試合のみ出場できない。(ユニホーム番号を記載)
- 5 コールドゲームは3回15点、4回10点、5回以降、7点差とする。
- 6 故意四球を適用する。
- 7 7回終了時、同点の場合は、8回以降はタイブレーカーを適用する。
- 8 サスペンデットゲームを採用する。
- 9 雨天の場合は、小雨決行とするが、試合が出来るか否か検討を要する場合は、第一試合開始時刻に各チーム代表者を交えて協議し決定する。
- 10 落雷事故防止のため、競技委員の指示に従うこと。
- 11 試合前・終了時のあいさつは、相手と審判に心を込めてしっかり行うこと。
- 12 次打者は次打席内で待機しなければならない。なお、安全面を考慮し、打席にいる打者が右打者の場合は三塁側、左打者の場合は一塁側の次打者席で待機しなければならない。
- 13 打撃姿勢:打者は、投球間にサインの確認や素振りをするとき、打者席内に片足を置いておかなければならない。
(ボールデットで、打者にワンストライクが宣告される。)
- 14 チームのメンバーは、審判員の判定に対し、不服の言動や不満の態度を示してはならない。違反した場合は、チームに対して警告が与えられ、再度繰り返すと、その違反者を退場させる。
- 15 試合中の、メガホンを使用できるのは監督のみとする。
- 16 ベンチからのヤジが好ましくないと判断したときは、審判員は、警告を与える。それにもかかわらず繰り返し違反したときは、その違反者を退場させる。
- 17 プレイヤーや観衆、のスポーツマンらしくない言動は厳しく指導する。
- 18 ベンチに入ることを許された者は、試合中、競技に携わる時意外はベンチを出てはならない。違反した場合は、警告が与えられ、再度繰り返すとその違反者を退場させる。
- 19 打者は、投手の準備投球が終了するまで次打者席で待機しなければならない。
- 20 チームのメンバーに、塁における判定に対して、“アウト”“セーフ”の発声をさせないように指導する。
- 21 チームのメンバーは声を出したり、動作で投球のコースを教えるてはならない。
- 22 喫煙は喫煙場所以外は、厳禁とする。
- 23 出場チームは、監督が引率し、選手のすべての言動に対して責任を負うものとする。(監督不在の場合は、必ず代理を立てること。)

不明な点があれば、事務局に問い合わせてください。